



## Contents

- ◆巻頭言 .....1
- ◆同窓会役員あいさつ .....2
- ◆2つの支部が新たに設立 .....2
- ◆統合・法人化について .....3
- ◆文部科学省の優れた教育プログラムに  
    本学のプログラムが多数採択！ .....4
- ◆生涯学習情報提供交換システムに関する協力のお願ひ .....4
- ◆会員の窓 .....5
- ◆大学イベントの報告 .....7
- ◆退任教員、平成20年度新任教員の紹介 .....8
- ◆平成19年度予算・事業内容 .....9
- ◆同窓会役員氏名一覧、事務局から、会費納入のお願ひ ..... 10

## 巻 頭 言 『卒業生のみなさまへ』

副 学 長            今 岡 日 出 紀

島根県立大学の卒業生の皆さん、就職先であるいは進学先で、または自営業でそれぞれに活躍しておられることと思います。島根県立大学が設立されて以来満8年が経過し、第5期の学部卒業生を、今送り出そうとしているところです。ところで、在学生および教職員の今の活動の状況は皆さんに十分に伝わっているのでしょうか。

卒業生の皆さんにお願いがあります。毎日の仕事、勉強等でお忙しいことと思いますが、私達教職員、在学生に是非近況を伝えて欲しいのです。

私も総合政策学部で演習を担当し、随分多くの学生諸君と一緒に勉強してきましたのですが、卒業後、誰一人として住所を教えてくれるでもなし、文字通り年賀状一本ももらっていません。

卒業と同時に絶縁されねばならぬ程悪い教師だったとは自分では思っていないのですが、卒業生の皆さんから見ると付き合いかねる教師だったのでしょうか。本学に赴任する前に2つの大学で教えていましたが、それぞれの大学の卒業生の幾人かたは今もって付き合いがあるのを考えるとそれ程嫌な人間であったとも思えないのですが。

私達の社会がフラットなネットワーク社会を基調とするものへと変化している今は、人間のつくる社会組織の中で、信頼・規範・ネットワークのようなソフトな関係である社会資本(Social Capital)の果す役割の重要性が、知識をベースとする人的資本と共にますます認識されるようになってきています。

大学を核とする卒業生・在学生・教職員間のネットワークは皆さんの社会資本として有用になってくると思います。連絡を密にして、是非、私達の間で効果的な社会資本を形成しようではないですか。随分と使い道はあると思うのですが。

**同窓会役員あいさつ**

会長 堂原 悠里 (旧姓：中谷)

早春の候、みなさまお変わりなくお元気でお過ごしでしょうか。平素から同窓会の活動にご協力をいただきありがとうございます。

早いもので、島根県立大学同窓会会報も第4号を発行することができました。同窓生数は4期、1千人に到達しようとしています。私が卒業して5度目の春を迎えようとしているのに、まだ少ししか経っていないような気さえます。

さて、昨年は定期総会の開催、関西支部・中国・四国支部の設立など大変活動的な一年でした。たくさんの同窓生に参加をいただき、本当に感謝しています。皆さんとお会いする度に元気をもらい、仲間っていいなと実感しました。参加できなかった方、是非次回は参加してください。また、各支部の運営に協力いただいた方々、ありがとうございました。

私事ではありますが、昨年結婚し人生の節目を迎えました。幸せなことに、懐かしい友人達に祝ってもらいながら式を挙げることができました。こうした節目毎に、大学を思い出し、友達を思い出し、私にとって大学四年間がどんなにかけがえのないものかを実感します。私は浜田に住んでいますので、大学の情報など耳にする事もありますが、県外・市外の方はそういう機会も少ないと思います。この会報が、頑張っている同窓生の方々の元に届き、ひと時でも大学生活やそこで培ってきた絆を思い出していただけたらと思います。

今後とも「繋がり」を大切にしながら積極的に活動していきますので、あたたかいご支援のほどよろしく願いいたします。

**2つの支部が新たに設立**

本年度、新たに「関西支部」と「中国・四国支部」が設立され、設立総会が開催されました。僅か4年足らずの間でこのように支部が相次いで設立されることは大変喜ばしく、皆様方の母校を思う気持ちの賜物であると感じております。

昨年設立された「東日本支部」を含め現時点では3つの支部が正式に活動を行っていることとなります。まだ、現段階では地方単位なので、各支部の会員数も多い状態にあります。今後県単位での支部が早期に設立されることを目標に頑張っていきたいと思います。

同窓会の発展は下部組織である支部の活発な動きが全てを支えているといっても過言ではありません。今回の設立総会に参加できなかった方も、今後は毎年各支部で総会が開催されることになっていますので、同窓会を更に盛り上げるために積極的ご参加をお願いします。

(文責 同窓会事務局 石倉)

**【中国・四国支部設立総会】**

中国地方在住の3期生有志の発声のもと、「中国・四国支部」が設立に至り、去る10月6日(土)に、広島市の鯉城会館において支部設立総会が開催されました。1期生から4期生まで総勢32名の参加でした。支部の範囲は中国地方5県、四国地方4県にわたり、支部員の総数は400名を超え、最大規模の支部となります。

式の当日は、来賓として大学側より井上勝博副理事長、堀内好浩キャリアセンター長をお招きしました。まず、支部長の兒島正俊(1期)さんより挨拶があり、その後堀内キャリアセンター長の乾杯のご発声により、懇親会が行われました。

会場内では、各期を通じて懐かしい面々が顔を揃え、大学時代の思い出話を始めとして、大変盛り上がった会となりました。



## 【関西支部設立総会】

関西地方に在住の卒業生有志、同窓会本部役員の発声から設立に至った「関西支部」です。去る10月20日（土）に大阪市の大阪弥生会館において支部設立総会が開催されました。

当日は、来賓として大学側より井上勝博副理事長、堀内好浩キャリアセンター長をお招きしました。まず、支部長の勝部司さんより挨拶があり、その後堀内キャリアセンター長の乾杯のご発声により、懇親会が行われました。

参加者は11名とこじんまりとしていましたが、久々の再会に大学時代の思い出話を始めとして、久々の旧友との再会に大変盛り上がった会となりました。



## 統合・法人化について



『公立大学法人島根県立大学』のロゴマークです。

日本国内の大学を取り巻く状況は、「大学全入時代」という言葉に象徴されるように、まさに生き残りをかけた厳しい時代に突入しています。

これまでの同窓会報においても経過報告をさせていただいておりましたが、大学間競争に的確に対応するため、平成19年4月、島根県立大学は「公立大学法人島根県立大学」として新たにスタートしました。この法人化に伴い、これまで島根県が直接設置、運営してきました島根女子短期大学（松江市）、看護短期大学（出雲市）を短期大

学部として新たに統合し、島根県立大学と一体的に運営することになりました。

地理的には浜田、松江、出雲と離れた地にある各キャンパスですが、浜田キャンパスを本部とするアドミッションセンター、キャリアセンター、地域連携推進センター、FDセンター、メディアセンター、保健管理センターという各組織が綿密に各キャンパスと連携をとることで情報の相互共有を図り、地域に貢献できる大学を目指していきます。

（文責 同窓会事務局 石倉）

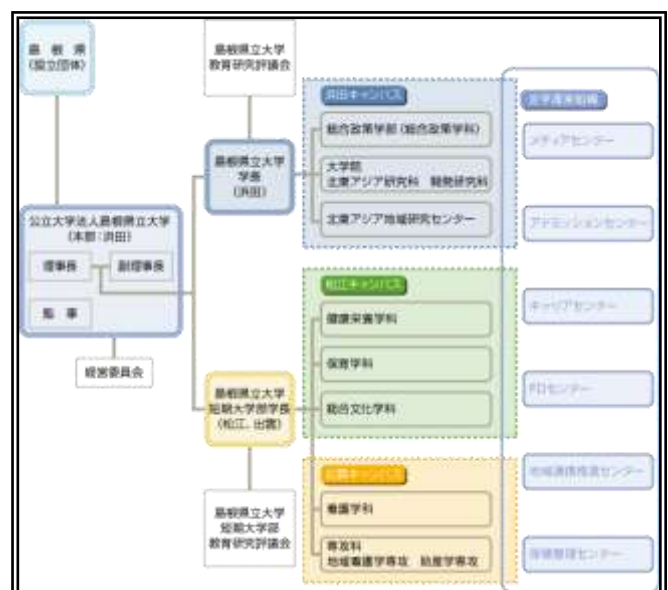
## 《公立大学法人島根県立大学が目指す大学とは》

地域に根ざし、地域に貢献する大学

学ぶ意欲を大切に、高めていく大学

北東アジアにおける知的共同体の拠点として世界と地域をつなぐ大学

## 《公立大学法人島根県立大学組織図》



**文部科学省の優れた教育プログラムに本学のプログラムが多数採択！！**

文部科学省が優れた大学教育を重点支援する「GP」（グッド・プラクティス）（注）に島根県立大学（浜田・松江・出雲キャンパス）の取り組みが本年度5件採択されました。全国にある国公立私立大学が様々な視点から新たな取り組みを目指していく訳ですが、最終的に選定されるのは応募件数の約2割程度と、大変厳しいものがあります。その中で、本学のように地方にある小規模大学が1年の間に何度も採択を受けることは極めて異例で、全国的に高い評価を受けたことを意味しています。過去にも採択を受けたものも含めると、現在7件のプログラムが進行しています。

島根県立大学は日本全国の高等教育のモデルとなるべく日々邁進してまいります。

（文責 同窓会事務局 石倉）

**（注）「GP」（グッド・プラクティス）とは？**

文部科学省が「国公立私立大学を通じた大学教育改革支援」として実施している事業です。その中には幾つかのプログラムが選定されています。各大学等におけるカリキュラムや教育方法の改革などの大学教育改革への取組の中から、特に優れた教育取組を選定し、重点的な支援が行われます。

**【本年度採択を受けたプログラム】（浜田キャンパス分）****◆ 現代GP**

「北東アジアにおける英語使用環境の構築」

ICT活用による新しい英語教育モデルを目指して

担当者：浜田キャンパス 江口真理子教授

**◆ 学生支援GP**

「双方向的情報システムの構築による学生支援」

21世紀を見据えた高度情報化社会における学生支援の展開

担当者：浜田キャンパス 堀内好浩教授

**生涯学習情報提供交換システムについての協力をお願い**

前述の学生支援GP「双方向的情報システムの構築による学生支援」の一つとして、今後卒業生のみならずと大学側をネットワークで結び、卒業生と大学間、また卒業生間のコミュニケーションを図ることのできるようにするシステム（「生涯学習情報提供交換システム」）を構築していくことにしています。具体的なイメージは以下のとおりです。

このシステム導入の目的は、卒業生の皆様のキャリアアップのための学習支援や、社会人としての悩み相談により、就業へのモチベーションの向上を図ることとしています。このことにより離職率の低減へ繋がることが期待されます。

システムの本格稼働は平成22年からとしています。今後は検討委員会等を開催しながら卒業生の皆様が使いやすいシステムを構築していくこととなります。次年度以降の同窓会報へも随時、進捗状況をご報告するとともに、卒業生の皆様方におかれましてはシステム導入に当たってのご意見等もいただけると喜びます。

**【生涯学習情報提供交換システムのイメージ】****① 大学⇄卒業生のイメージ****◆ 「eラーニング」**

社会的ニーズに合った生涯学習として、必要である教育プログラムを、ネットワークシステムを通じて学ぶことができるようになります。

**◆ 社会人としての悩み相談**

◆ 転職、島根県へのUターン相談等就職相談などが挙げられます。



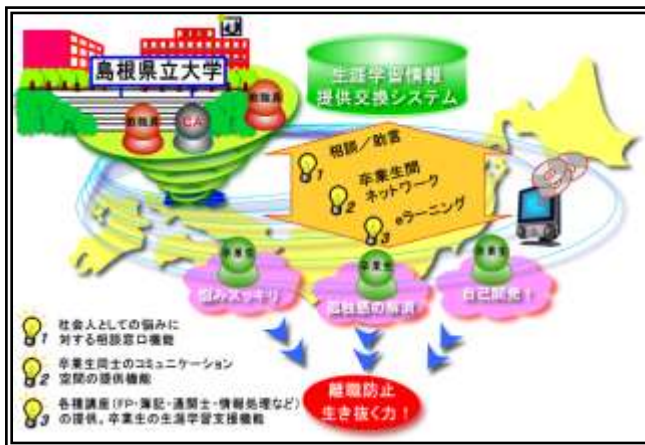
## ② 卒業生⇄卒業生のイメージ

### ◆卒業生同士のコミュニケーション構築

全国各地におられる卒業生同士をネットワークで結び、悩み相談やコミュニケーションが図れるシステムを作ります。

(文責 同窓会事務局 石倉)

### 《「生涯学習情報提供交換システム」のイメージ図》



私が現役の頃は部員も10数名と少なく、楽器も揃わなかったので練習もままならないような状態でした。しかし、”人数は少なくとも向上心を持って楽しい演奏をする”をモットーに、積極的に発表の場を見つけて活動しました。そして次第に心強い仲間が増え、4年生の時には吹奏楽コンクールにも出場できるほどになりました。今では部員数も平均20名を越え、大編成の楽曲も演奏できるようになりました。

今、現役の部員は、私が卒業してから入学した方ばかりですが、不思議と自分の兄弟や家族のように親しみを覚えます。それは、部員たちが私たちのころと同じように悩みながら一生懸命活動しているからであり、大きく言えば、自分たちの意思をしっかり引き継いでくれているように思えるからです。(大きく言い過ぎたかもしれませんが。) 私が4年間活動できたのも1期生だけの努力ではなく、2期生、3期生、そして4期生の頼もしい支えがあったからです。今回の演奏会を通して同じように部員同士がしっかり支え合う姿が見られ、本当に嬉しく思いました。

今回はこの場を借りて、社会人となった島根県立大学吹奏楽部OBの皆さんへ現部員たちの活動をご報告させていただきました。同窓会のみならず、同じように自分たちの後継者である現在の大学生の活動を温かく見守ってあげてほしいと思います。

## 会員の窓

### ◆ 児島 正俊 (平成16年3月卒業 島根県)

#### 『受け継がれる吹奏楽部』

2003年に大学を卒業し、早いもので5年が経とうとしております。卒業後は浜田市(旧旭町)で勤務しておりますが、地元ということもあり自然と県大生とかかわることも多くなりました。

先日は、浜田市で毎年行なわれるチャリティーコンサートに参加しました。浜田市内の学校の吹奏楽部、市民ブラスバンドなどが出演するコンサートで、島根県立大学吹奏楽部も私が現役だった頃から出演させていただいております。このたびは縁があって現役の大学生のみなさんと一緒に演奏させてもらいましたが、練習中に学生当時のことが昨日のここのように思い出されました。



◆ 藤田 倫子(旧姓:藤原)(平成17年3月卒業 和歌山県)

## 『新たなキャリアアップ!』

私は今、今春迎える挙式の準備でわくわくした毎日をご過ごしています。3年前の今頃、1人前として飛び出すために厳しい教官の元、訓練生の私は、勉強、試験、勉強…の、とても現在の生活を想像できない日々でした。

平成17年の2月、幼少期から憧れていた、航空会社に入社し客室部に所属した私は日本国内をそれこそ北海道から沖縄まで飛び回っていました。今、ふと仕事での乗務便数が気になり、単純計算してみるとその数は2,000便を軽く超えていたのです。本当に就きたかった職業、この気持ちがやはり大きな原動力でした。体力的に想像よりはるかにハードな業務、お客様の保安要員としての責任、またひとたび離陸してしまえばそこからは自分たちで判断し迅速に行動しなくてはいけないプレッシャーも多く感じていました。落ち込んだときには、お休みがあれば乗務したその足、またまた飛行機で実家の島根に飛んで帰ったものでした。

しかしそのような業務であるからこそそのやりがいはいは大きく、入社1年半が経過すると機内における責任者となる先任客室乗務員の資格を半年かけて取得する機会が与えられ、この資格を取ってからは、私も会社に貢献しているんだ!という自信が持てました。そして本当に仕事を楽しむ余裕が持てたのです。

そんな中今の幸せに導いてくれた旦那さんに出逢いました。「2人の出会いは?」とよく聞かれるのでここでもお話させていただくと、残念ながら機内ではなく合コンです!すぐに結婚が決まり、仕事を辞めることへの迷いは全くありませんでした。医師として本当に懸命な旦那さんを温かい家庭で癒し支えたいと思えたのです。

社会からは一度離れてしまいましたが、今のこの時間を大切に新たな自己啓発に励み、いずれは

家族を築いていくことでの社会貢献が楽しみであり、私の次なる人生のキャリアアップなのです。

◆ 矢野 龍一(平成18年3月卒業 広島県)

みなさんこんにちは。

私が卒業して3回目の春が訪れようとしています。

今年も真新しいリクルートスーツに身をつつみ就職活動をしている学生さんを多く見かける季節となりました。

私の会社にも、島根県立大学の後輩が訪れ、私は人事ではありませんが、母校のリクルート担当として、何人か会って話をさせて頂きました。

私自身4年生の春には同じようにどきどきしながら会社を回ったものです。それが今、このように逆の立場にいるなんて面白いと思います。学生と話をして感じるのは自分の将来について真剣に考え、意見や考えをしっかりと持ち、自分の言葉で相手に伝えようとしている学生は目が輝いているように感じます。大切なのは面接の受け答えや履歴書の書き方のテクニックではなくて、自分を相手に理解してもらいたいという一生懸命さや熱意であり、目が輝いている学生からはこうした思いが伝わってきます。私も学生時代このような目をしていたのか、今の私の目は輝いているのかと考えさせられ、私自身も良い刺激を受けています。

昨年の夏ごろ、同窓会の中国・四国支部の設立に携わらせて頂きました。大学の諸先生方や同窓会事務局の方のご協力を始め、多くの方のご尽力のおかげで昨年10月に広島の鯉城会館にて設立総会を開催することができました。当日は中国・四国地方の以外の方も含め30人以上の方が参加し非常に有意義な会となりました。今年も同様に10月頃に支部総会を開催したいと考えています。私は卒業して社会に出てたくさんの人と出会う事により、改めて人とのつながりの大切さに気付かされました。人と触れ合う中で、否応な



しに自分は島根県立大学の卒業生だと意識させられることがあります。島根県立大学の卒業生としてのアイデンティティがみんなにはあります。支部総会は規約の中で1年に1度開催する事が明記されています。それを確認する場として、支部総会が開催出来たらと考えています。また、中国・四国支部なので、中国・四国地方在住の方はもちろんですが、地域の垣根を越えて大勢の仲間と集まれたらと思います。

最後にこのような機会を与えて頂いた同窓会事務局の方に感謝いたします。

### ◆ 王 暁雪 (平成19年3月卒業 東京都)

#### 『島根から東京へ』

時が経つのは本当に早いものですね。東京に来てから間もなく1年になります。

この一年は、学生から社会人となり、島根から東京に来て、人生の中で本当に思い出となった1年でした。そして、一番成長を感じた一年でした。

仕事帰りはたまに1人で新宿のあるビルが一番高い所でお茶をしたりしながら、「今、県大生たちは何をしているか」と考えることがあります。体育館は相変わらず賑やかですか？バスは相変わらず一時間1本ですか？1人でいるときに、静かな所で大学ののんびりしていた素晴らしい4年間を思い出すと、私はかつてそんなにすばらしい所にいたのだと思い、心が落ち着きます。御飯は安くて美味しい、人は常に笑顔で優しい、海は静かで綺麗、山は高く緑が多い。たくさんたくさん、永遠に心の中でその大自然の素晴らしさは生き続けることでしょう。

今はようやく東京の生活にも慣れてきました。自分の生活圏も出来てきました。友達がいっぱいおり、幸せです。平日の朝は混んでいる満員電車の中で、日経新聞を読み、頭の中でその日の「To do list」を作り、上司の前で真面目に仕事を行い、自分のスケジュール管理、納期、成果物の品質を

常に心の中で意識をしています。書類を提出するたびに、心の中で怒られる準備をしています。また、毎日の日報で自分の成果と反省、対策を報告しています。その中から自分も少しずつ成長してきていると感じています。打たれ強い部下になり、一日も早く会社に貢献できるような人になりたいと考えています。

一方で、土日になると、東京には留学生や中国人がいっぱいいるので、同期や友達でテーマパークに行ったり、美味しいパフェを食べに行ったり、温泉に行ったり、金曜のカラオケオール、岩盤ヨガ、テニスなどなど。一番楽しいのはバーゲンで買い物する事です。毎週の休日の予定を全部入れるようにするのもいつの間にか自分の日常になりました。普段のストレスを全部頭の後ろに投げます。努力する時は一生懸命に頑張り、遊ぶときは誰よりも楽しむのが私の東京生活になります。

まだまだ学生気分が抜けていませんが、私はこれからずっと東京で頑張りたいと思います。もちろん、年一回ぐらいは島根に戻りたいと考えています。自分の第二の故郷に戻りたいです。

(ちょっと嬉しい事に、この一年でようやく日本語が島根弁から標準語に変わりました。)

### 大学イベントの報告

(海遊祭・オープンキャンパス)

#### ◆海遊祭

昨年10月13日(土)、14日(日)に第8回海遊祭は台風が近づくなどの心配を他所に気持ちの良い天候の中で開催されました。今年度もたくさんの学生や地域の人々、来場者の皆様のお陰で盛大かつ県大らしい海遊祭となりました。

今回の海遊祭は、コラボレーション(共同)をもとに、学生や地域の方々と一緒に作り上げていくことを目標にし、各サークルと入り口アーチの共同制作を行うなど、様々なことを行いました。



メイン企画は、ブラックマヨネーズ他4組によるお笑いライブや島根県について考えるシンポジウム、浜田でお馴染みの神楽やBB大鍋や猿回し、また過去最多の35団体が出店した模擬店などがありました。海遊祭終了後に今年卒業される先輩に「(最後の演目の)琴の音を聞きながら、まだ終わらないでほしいと思ったよ。」と言われ、こんな風に思われた海遊祭に携われたことを誇りに思いました。

最後に、たくさんの方々にご支援ご協力いただきまして、大変ありがたく思っています。お越しいただいた卒業生の皆様、本当にありがとうございました。来年、再来年と海遊祭が続き、更に良いものとなりますよう、今後とも応援よろしくお願いたします。

(文責 大学祭実行委員会 会長 岩波孝美)



入口です



猿回しもありました

でもキャンパスツアーは高い人気で、高校生の中には新しくきれいなキャンパスで大学生活を過ごしたいとの声をたくさん聞きました。学生相談やランチ交流会では、県立大学の学生が入試のアドバイスを言ったり、大学生活についての質問に答えて、高校生との交流を図りました。具体的には1回目、2回目ともAO入試前日を兼ねていたため、AO入試に関してや浜田での生活についての質問が多かったです。

他には今年から統合した松江キャンパス、出雲キャンパスの相談ブースも設け、8月の松江キャンパス、出雲キャンパスのオープンキャンパスにも本学の学生4名が参加しました。

今回のオープンキャンパスに参加して頂いた高校生を含め、たくさんの新入生に春出会えることを楽しみにしています。

(文責 学友会執行委員会 会長 大楠愛与)



昼食は大賑わい!



在校生が親身になって相談

## 退任教員、平成20年度新任教員の紹介

### ◆オープンキャンパス

平成19年7月14日(土)、9月21日(日)に第1回、第2回オープンキャンパスが行われました。スタッフは学友会の役員を中心に、一般学生約35名から構成されました。当日は広島、松江、益田からバスで多くの入学を希望する高校生の方々が県立大学を訪れました。

授業体験を始め、学生相談、キャンパスツアー、ランチ交流会などの催し物を行いました。その中

### ◆退任教員

シェーファ・ジェフリー 講師

### ◆平成20年度新任教員

飯田 泰三 教授

担当科目: アジアの中の日本思想史入門



**平成19年度予算及び事業計画**
**【平成19年度収支予算】(収入の部)**

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
項 目				
会費	2,150,000	2,150,000	0	@5,000円×(H19入学生+卒業生180人)
繰越金	4,004,108	2,707,861	1,296,247	
寄付金	10,000	10,000	0	
雑入	1,000	1,000	0	利息収入等
合 計	6,165,108	4,868,861	1,296,247	

**(支出の部)**

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
項 目				
事業費	480,000	290,000	190,000	
講演会等	0	210,000	-210,000	在校生への進路・就職活動支援
福利厚生	0	0	0	
会報作成	80,000	80,000	0	作成費、発送費用(1~4期生)
会員名簿	160,000	0	160,000	発送費用(計784名)、保護シール
支部設立準備費	120,000	0	120,000	関西支部設立に伴う会長・副会長の会合出席の費用弁償、開催経費
支部総会等	120,000	0	120,000	東日本・関西支部総会開催費用(会場代)、発送費用
総会費	0	150,000	-150,000	会議運営費、事務費
役員会費	150,000	1280,000	-1,130,000	
理事会費	150,000	350,000	-200,000	会議運営費、費用弁償、発送費用(理事・幹事)
幹事会費	0	930,000	-930,000	
事務費	50,000	50,000	0	
予備費	300,000	300,000	0	
繰越金	5,185,108	2,798,861	2,386,247	
合 計	6,165,108	4,868,861	1,296,247	

**平成19年度の主な事業内容(計画・実行分含む)**

## (1) 同窓会運営に関する事業

①理事会2回(H19.5.28、8.25)

②地域支部設立支援事業(関西支部 19.5.28 設立認可、中国・四国支部 19.8.25 設立認可)

## (2) 島根県立大学の後援に関する事業

 ①在学生への進路・就職活動支援(キャリア形成講座での講演OB・OG訪問の受け入れなど)  
 ・キャリア形成講座(1期生1名、3期生5名、4期生7名の計13名が出席)

②OB・OG訪問受け入れ(3月31日時点 計13名受け入れ)

## 同窓会役員氏名一覧

■会 長	中谷 悠里				
■副会長	佐々木眞生				
■理 事	久保田 翼	白根 慎介	谷口 正樹	藤々木正幸	朴 美洋
	松崎 幸太	門田 龍太	原田 啓佑	矢野 龍一	
■監 事	大田 美江 児島 正俊				
■幹 事	岩田江身子	越中谷育未	沖津 孝明	久保 彩佳	古賀 直樹
	下手 麻子	鈴木 琢也	中塔 千鶴	錦織 悠佑	秦 幸代
	村上栄太郎	山村 涼	有田 裕也	上杉 記隆	川本 未来
	小山 学	藤江美智子	前田 啓介	三輪 香織	吉田 友香
	犬山 智靖	井上 雅博	奥井 裕介	佐々木亜弥	瀧尻 真由
	柳楽 昌広	福原 香世	屋敷あゆみ	渡邊 真悟	麻生 昌大
	江田奈津美	足立 修介	池淵 葉子	王 暁雪	大場 愛
	川上 幸祐	小池 敏弘	小林 直樹	佐藤 恵	林田 祐也
	藤村小百合	松前 早紀	松本 裕美	村山 幸平	柳瀬 和範
	渡邊 千尋				

## 事務局から

今後も、年に1回程度会報を発行する予定です。卒業生の皆さんからの在学生へのメッセージなどは随時そちらへ掲載するなど考えていますので、近況などをお知らせ頂きますようお願いいたします。

なお、現住所等の変更などがありましたら、お手数ですが事務局までメールやFAX等でご連絡をお願いいたします。

## 会費納入のお願い

島根県立大学同窓会は、平成16年3月19日に設立され、終身会費5,000円で運営されています。

既に多くの方々に、納付いただいておりますが、まだ納付いただけていない方は、下記により納付いただきますようお願いいたします。

### 納付方法① 銀行振込

山陰合同銀行 浜田支店 (支店コード043)

口座番号 普通 3607995 口座名義 島根県立大学同窓会 会長 どうはら ゆり 堂原 悠里

住 所 島根県浜田市野原町2433-2

### 納付方法② 小為替の送付 (到着後、領収証を発行します)

郵便局で、5,000円分の「普通為替証書」を購入していただき、大学事務局まで郵送していただく。(受取人指定欄、受取人欄には何も記入しないでください。)

### 島根県立大学同窓会事務局

(事務局キャリア支援室内)

〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2  
TEL (0855) 24-2202、FAX (0855) 23-7352  
E-mail career@u-shimane.ac.jp